

学年	高校1年	教科	国語
コース	ICA	科目	国語総合（現代文）
時間数	3時間/週		

重視したいコンピテンシー

① コミュニケーション	読解偏重ではなく、「話す・聞く・読む・書く」の総合力を向上
② 共創	グループでの対話を重視し、創作力を向上
③ 異文化理解	様々な文章に触れ、日本の内部にも異文化があることを理解する

3	様々な分野の文章やメディアを通して、言語感覚を豊かにする。	把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	自己の内面に既存する論理を変革し、内的世界（世界観・人間観など）を深めることができる。
2	段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。漢字・語彙を文脈のなかで適切に用いる。	主張、理由・根拠を的確につかみ、文章全体の主旨を説明することができる。	他者との対話を通して、現代と未来に向けた意思を表現することができる。
1	言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。文章の段落・場面について理解する。	出来事・言動と心情の繋がりを理解する。	他者の考えを批判的に検討することの意味を理解する。
	A 知識・技能	B 応用・実践	C 批判・創造

学期	月	単元	単元目標	主な活動
1	4	ことばについて探求する	「話す・聞く・書く・読む」の技能の向上をさせるために、一学期はことばについて探求を行う。その探究活動の際には、日本語に関わる様々な素材を用いる。読解偏重ではなく、「話す・聞く」活動を多く使うことで、ことばを使いこなすことの楽しさを知る。	<ul style="list-style-type: none"> グループでの創作活動 文章構成・心情についての読解（グループ） 短文精読 インタビュー
	5			
	6			
	7			
2	9	生きるための倫理について考える	『羅生門』の下人の生き方を通して、「生きるためなら悪いことをしてもよいのか」という問題に正面から向き合う。その際、近代世界の延長線上にある現代世界に目を向け、グローバル化が引き起こす現代的な社会問題をこの物語の構造にあてはめながら考えるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> グループでの創作活動 文章構成・心情についての読解（グループ） 短文精読 インタビュー
	10			
	11			
	12			
3	1	「信頼社会のつくりかた」「人間関係を抽象的に捉える」「出会いから考える」	筆者の問題提起を把握し、論理的に文章を読む力を身につける。 人と出会い、交流することは今後社会に出ていく上で避けられないことであり、円滑な人間関係を築くために必要な力を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> グループでの創作活動 文章構成・心情についての読解（グループ） 短文精読 インタビュー
	2			
	3			